

さわらび

2018. 7. 13 No. 12 文責：大塚

最初はちょっと照れながら…



7月11日(水)、毎年行っている「四万十の郷」での交流に行ってきました。職員の方に学校に来ていただいていたの事前学習を経て、1、2年生4名が参加しました。

自己紹介などを含めてのお話タイムのあと、一緒にすごろくをして、止まったところの指示で「今日の天気は何ですか?」と質問したりと楽しく過ごしました。

■生徒の感想 [抜粋]

○笑顔でいることも大切だと思いました。自分の気持ちが緊張しているときは、お年寄りの方にも伝わって、あまり話が續かなかったけど、私がニコニコ笑顔でいれば、相手も笑顔になるということが分かりました。

○ぼくは初めて会う人とは、あまりうまく話せないで、緊張していました。でもすごろくやいろいろな話などをして、いつの間にか自然に会話ができるようになっていきました。特に心に残ったのはすごろくで、チームごとに分かれて止まったマスに書かれていることで、運動したり歌を歌ったりしてとても楽しかったです。

○(お年寄りに)嫌な思いをさせないか心配だったけど、職員の人たちも利用者の人たちも優しく、元気で、とても楽しい雰囲気でした。どう話したらいいかと思ったけど、利用者の人が積極的に話しかけてくれたので、緊張がほぐれてとても話しやすかったです。

○レクレーションの後の体操では、みんな一生懸命できてよかったです。昼食の配膳では、飲み物を人によってはちがうということや、アレルギーなどがある人に間違っただけを配らないように器を目立つものにして工夫を知ることができました。



~わらたけノビノビ会意見交換会~

7月12日(木)、17:30から藤岡小学校において、「わらたけノビノビ会意見交換会」が開催されました。岡村会長からの「自分の考えを整理して伝えることは大事」との開会挨拶に続いて、3つのグループで、「生活」「学校・地域行事」「安心・安全」について「連携」の視点から話し合いました。生徒会執行部の聖に君とさくらさんも、意見を言ったり記録をとったり、最後の全体会での発表役もありました。地域の熱い思いを再認識した90分でした。



~租税教室を行いました~

7月9日(月)、四万十市税務課の方が来てくださって、2、3年生対象での租税教室を開催しました。

■生徒の感想

租税教室で、税はいろいろなところに使われていて、難しい名前の税もあるんだと思いました。50種類もあると聞いてびっくりしました。日本国憲法の三大義務に、税金を払うことが定められていることを初めて知りました。

※3年生は来週、社会「公民」で納税の義務を勉強するそうです。



~小学校へ読み聞かせに行ってきました~

中学生が小学校へ行って読み聞かせをする取組をスタートしました。毎月第2水曜日に1~2名で参加します。第1回目となった7月の担当は、さくらさんと花奈さんです。

『もぐらバス』『こりゃなんだ』という2冊を練習して、7月11日(水)に行ってきました。

1、2年生が前に乗り出して一生懸命聞いてくれました。



たすけにいこう

あの子はよくいじめられる

今もいじめられてる

あの子がこつちをみた

その目は

「助けて」と言っていた

あわてて目をそらした

そのしゅんかん一人の人間の心を

ズスタにひきさいた気がした

家にかえるとちゅうも

まるで全速力で走った時みたいに

苦しくて

苦しくて

ドキドキした

「たすけにいこう」

そう思った時

わたしは学校にむかって走っていた

(響屋川市立中央小学校5年生)

■20年くらい前に出会った人権教育の資料に掲載されている詩ですが、いつ読んでも、この子のドキドキする気持ちに共感し、走っていく背中にも勇気もらいます。もし、その場で「それは、いかん!」と言えなくても、後で、そのときのこと、言えなかった思いなどを周り係、嬉しみに伝えていくことも立派な行動です。これからどこかで「いじめ」や「差別」に出会ったとき、「関わらない」「無関心」ではなく、自分にできる関わり方をしていってほしいと思います。(お)